



平成20年度那覇市ゼロエミッションモデル事業

スーパーでの環境にやさしい買い物紹介ツアー
地産地消の農家訪問ツアー

参加者アンケート集計結果

NPO法人沖縄ホールアース研究所

那覇市牧志3-2-10-3F TEL/FAX 098-862-3828

Mail okinawa@wens.gr.jp

スーパーでの環境にやさしい買い物紹介ツアー

総参加人数

74名

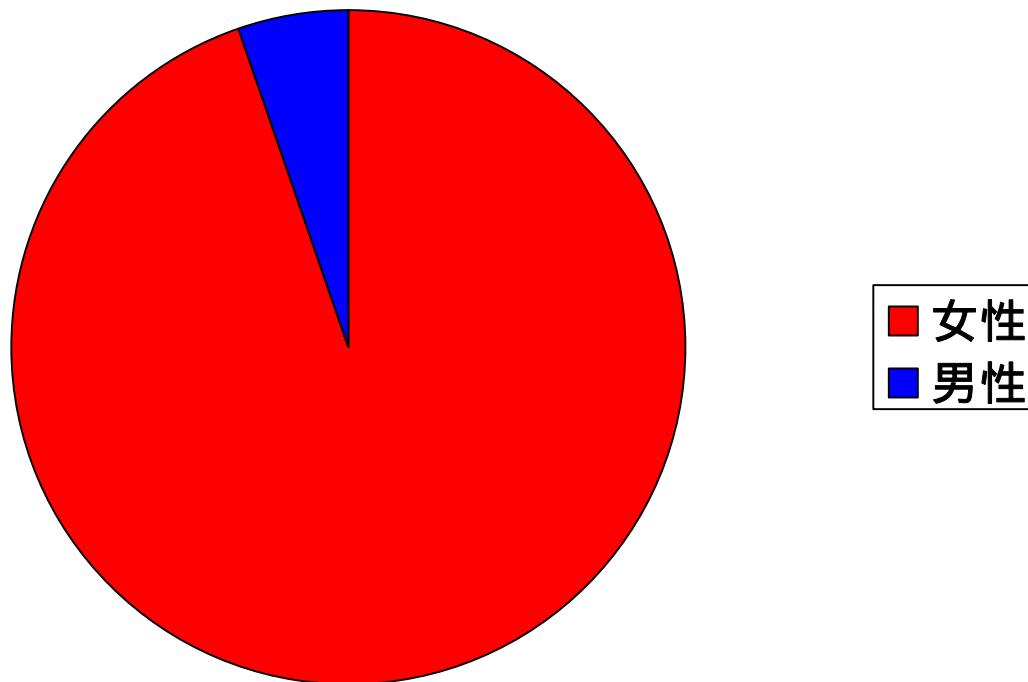
(アンケート回収 45名)

スーパーでの環境にやさしい買い物紹介ツアー

参加男女比

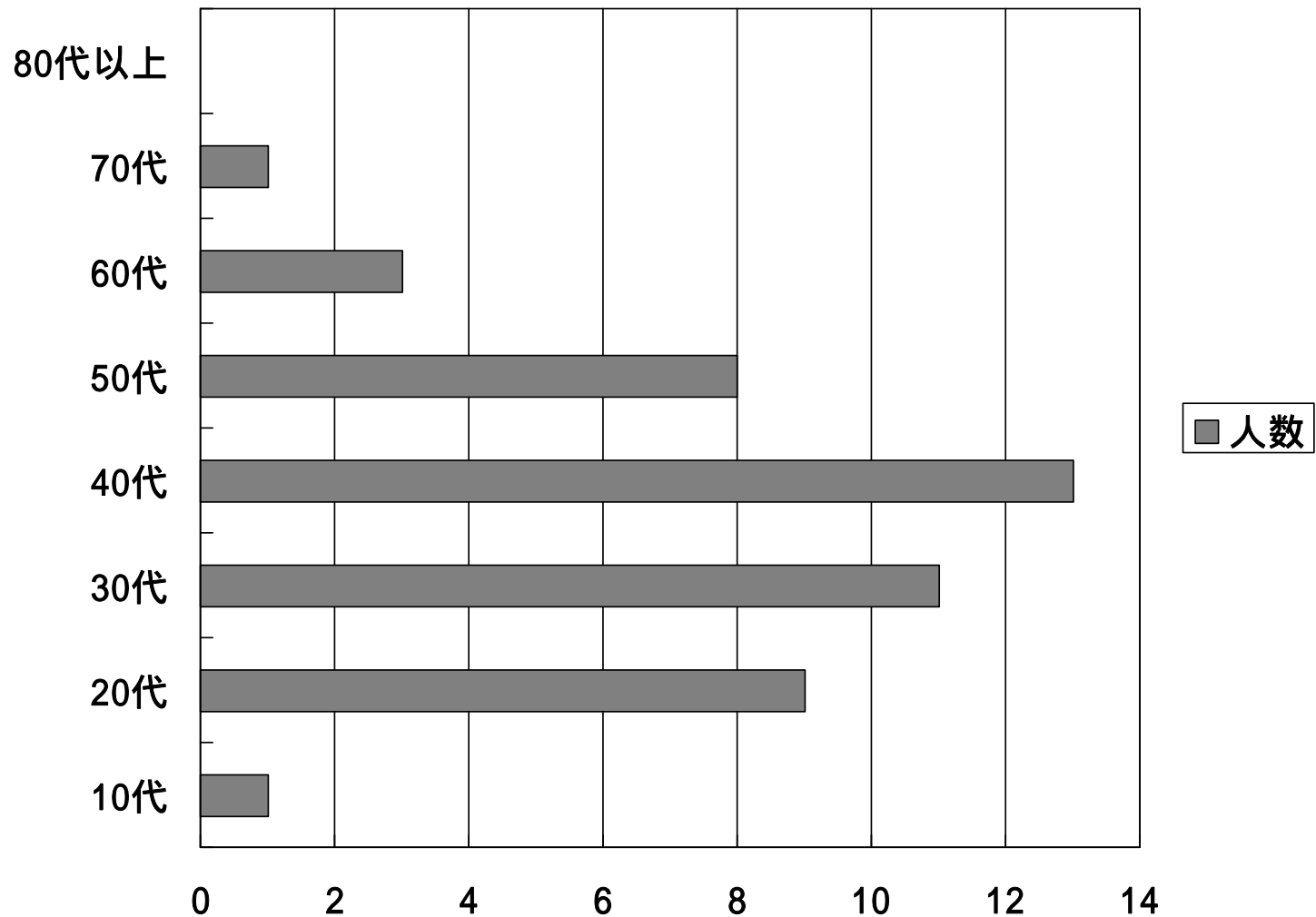
女性**35**名

男性**10**名



スーパーでの環境にやさしい買い物紹介ツアー

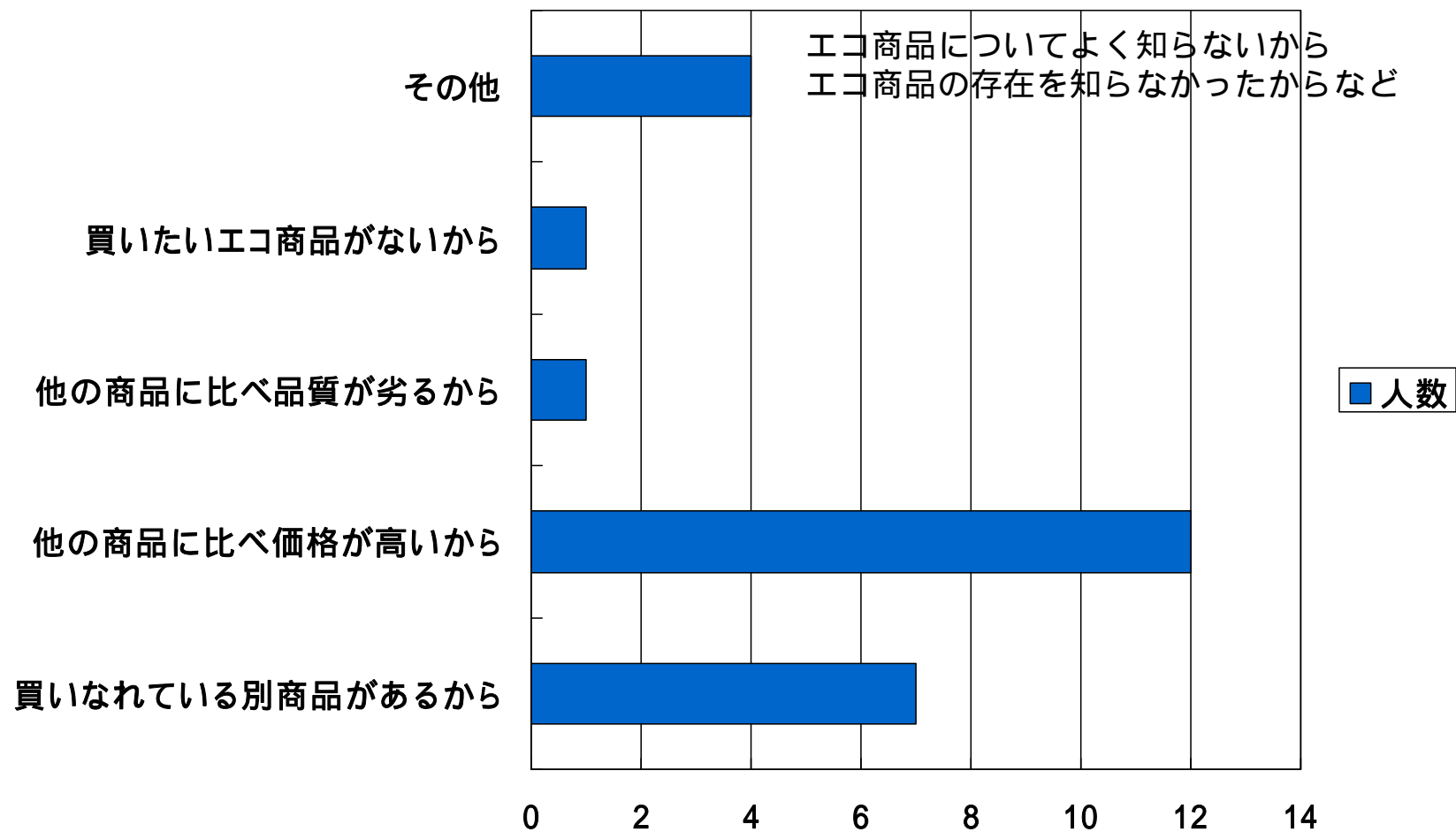
年代別参加者数



スーパーでの環境にやさしい買い物紹介ツアー

毎回エコ商品を買うわけではない理由

(複数回答)



スーパーでの環境にやさしい買い物紹介ツアー

仮に一般商品が500円の場合、許容できるエコ商品の値段は？

エコかどうかに関わらず
値段の安いほうを選ぶ

値段に関係なくエコ商品を選ぶ

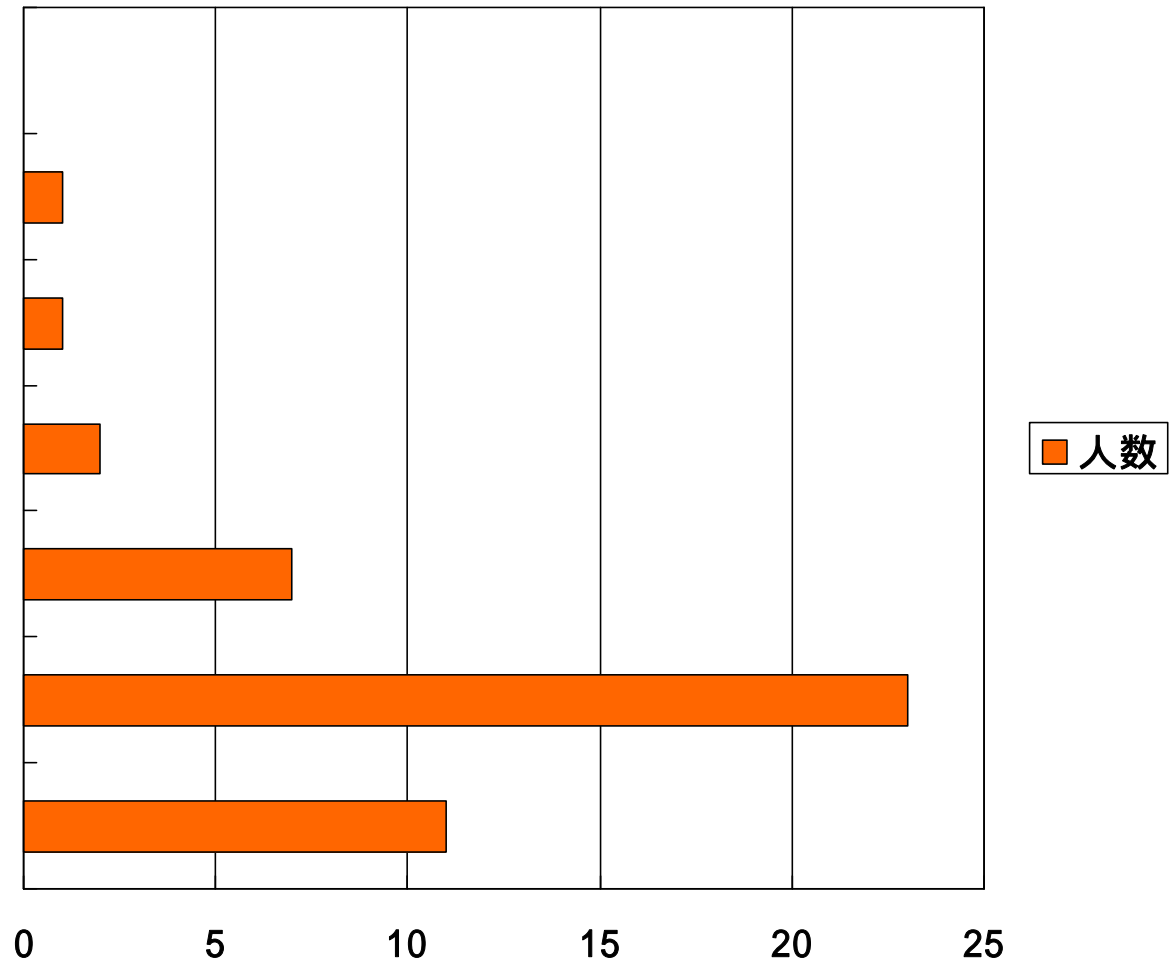
700円～750円未満

650円～700円未満

600円～650円未満

550円～600円未満

510円～550円未満



スーパーでの環境にやさしい買い物紹介ツアー

スーパー担当者をお願いしたい、エコな取組みは？

- お店で、エコな取組みやエコ商品のPRをもっとおこなって欲しい。
- 食品トレイなどの無駄な容器や unnecessary な包装をなくして欲しい。
- ゴミの量が少なくなるような詰め替え商品や、環境に配慮した商品を多く取り扱って欲しい。

スーパーでの環境にやさしい買い物紹介ツアー

スーパー担当者×消費者 意見交換会

- ・消費者を教育するようなスーパーになって欲しい。
- ・安心・安全なものを求めるなら、生産者がそういう作物をつくる手間やコストを、消費者も把握するべきだ。
- ・消費者が選ばない商品は、スーパーから消える。スーパーを変えるのは、消費者だ。
- ・消費者にわかるように、マークや商品の説明をスーパー側をお願いしたい。



地産地消の農家訪問ツアー

総参加人数

48名

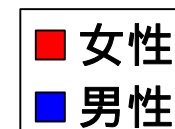
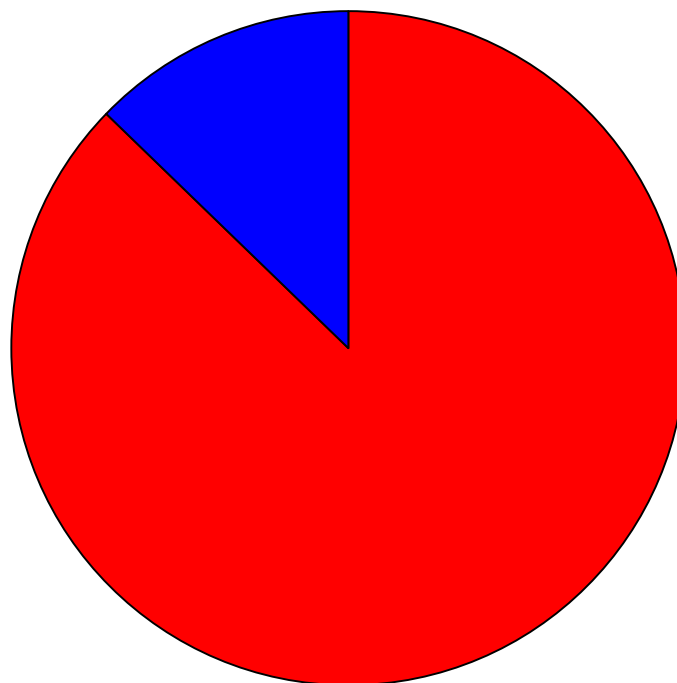
(アンケート回収 39名)

地産地消の農家訪問ツアー

参加男女比

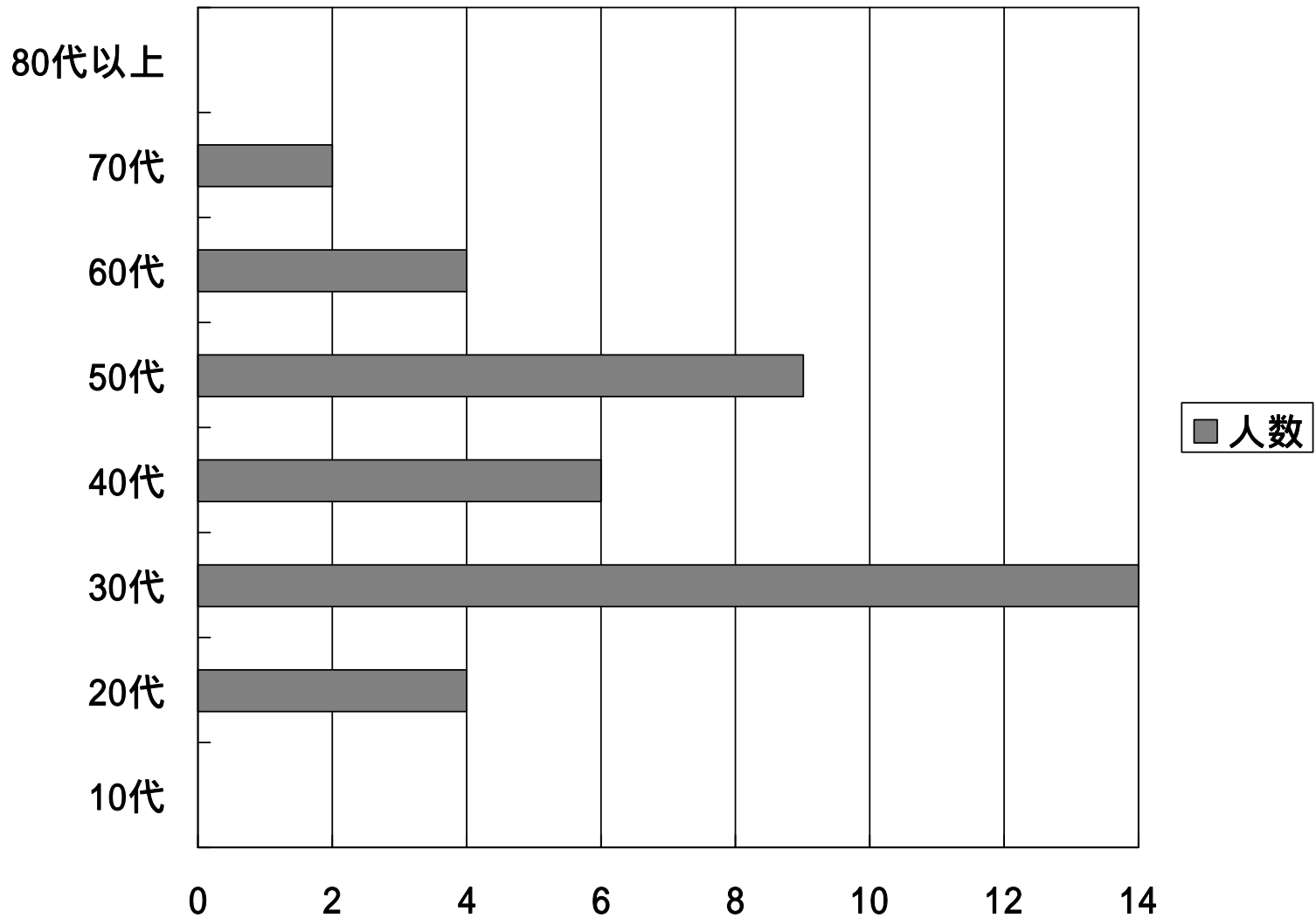
女性**34**名

男性**5**名



地産地消の農家訪問ツアー

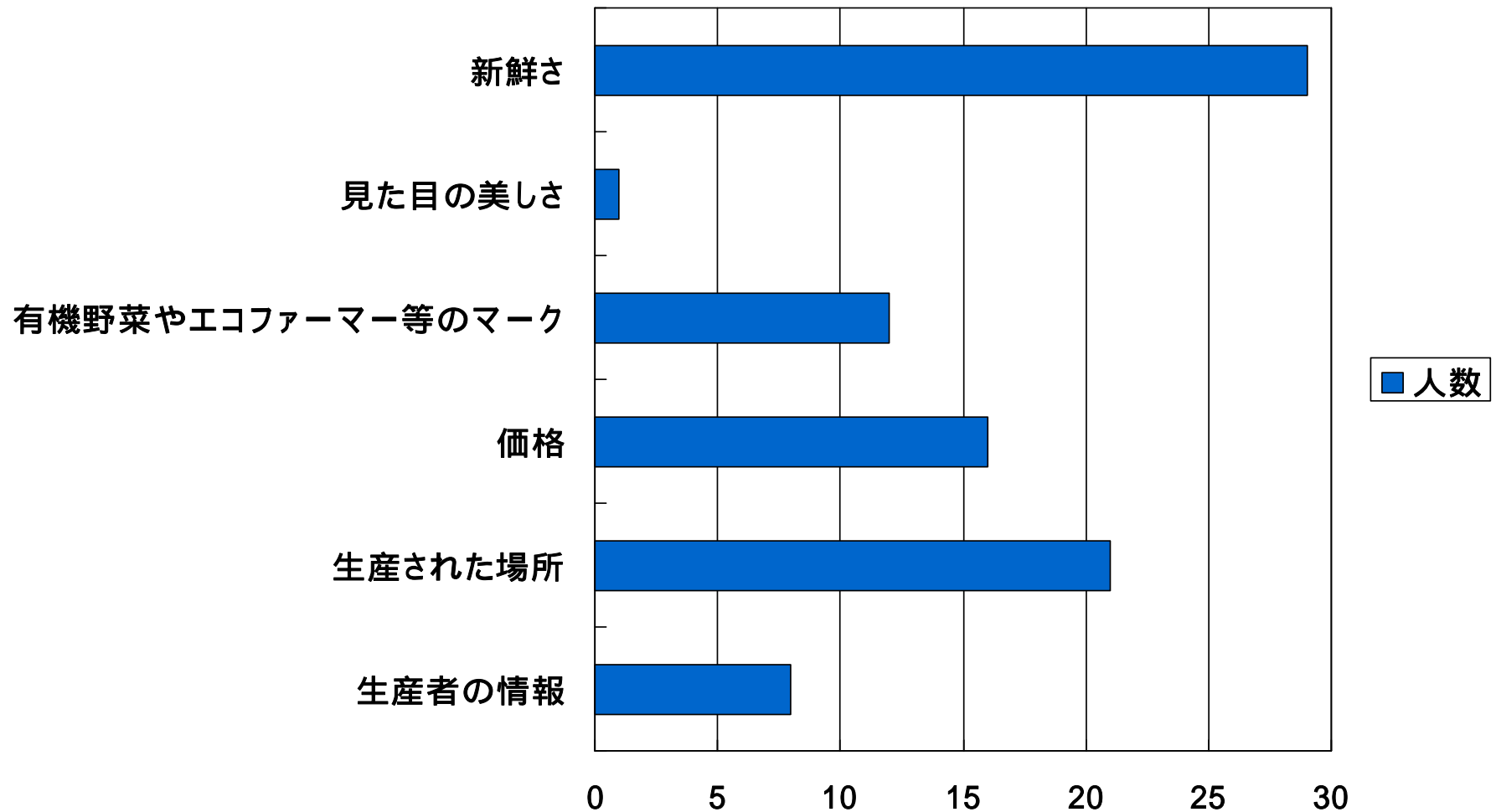
年代別参加者数



地産地消の農家訪問ツアー

積極的にエコ商品を購入するために重視する点は？

(複数回答)



地産地消の農家訪問ツアー

こんな改善があれば、地元産をもっと積極的に購入します！

生産者の情報について

- ・ 生産者の野菜づくりにかけるこだわりやオススメのレシピを、わかりやすく伝えてもらう。
- ・ 生産者の顔写真を貼り、どんな人がつくったのか伝えてもらう。

地産地消の農家訪問ツアー

こんな改善があれば、地元産をもっと積極的に購入します！

生産物の情報について

- ・ 農薬の使用回数や使用量の開示してもらおう。
- ・ 栽培する時に苦勞した点を伝えてもらおう。
- ・ 生産した具体的な場所の開示してもらおう。

地産地消の農家訪問ツアー

こんな改善があれば、地元産をもっと積極的に購入します！

環境配慮の情報について

- ・ 具体的にどのような取組みで、環境に配慮して農業をおこなっているかを伝えてもらう。
- ・ 使用している水やたい肥の情報開示してもらう。

地産地消の農家訪問ツアー

こんな改善があれば、地元産をもっと積極的に購入します！

価格設定について

- 高い値段であっても、その理由（かけた手間など）を開示してもらおう。
- 量り売り（バラ売り）され、グラム数によって値段が異なるという売り方がされること。

地産地消の農家訪問ツアー

こんな改善があれば、地元産をもっと積極的に購入します！

その他の意見

- ・家の近くのスーパーで地元野菜をもっと豊富に扱って欲しい。
- ・「農薬」＝「悪い」という“誤った情報”を氾濫させない。
- ・農家を訪問する機会をたくさんつくり、生産者をもっと身近に感じるようになる。（スーパーでツアーを募集できないか？）

地産地消の農家訪問ツアー

ツアーに参加したことで変わったことは？

- ・生産者の方が愛情や熱意を持って作物を育てていることを知った。
- ・普段あまり気にせずに購入していた野菜を見直し、少し高くても地元のものを買おうと思った。
- ・有機栽培をすることの大変さが、あらためてよくわかった。

地産地消の農家訪問ツアー

消費者×生産者 意見交換会

- ・ 近所のスーパーで、もっと地元の有機野菜を取り扱って欲しいが、ほとんどないのが現状。
- ・ 生産者は苦労した作物を安い値段で買いとられ、逆に消費者には高い値段で売られるという構造がある。
- ・ 消費者は無農薬が一番と言うが、ほとんどの消費者はいざ野菜を選ぶとき、虫食いのない野菜を選んでいるのが現状ではないか。